

石垣市制施行60周年

輝いて60年 ふれあい石垣 ひろがる未来

# まるごと

石垣市の「みー<sup>女</sup>どうん」と「びぎ<sup>男</sup>どうん」のひろば

石垣市女性団体ネットワーク会議結成10周年記念  
第10回 まるごとフェスティバル 記念式典  
主催:石垣市女性団体ネットワーク会議・第10回まるごとフェスティバル実行委員会 共催:石垣市



■標語

「思いやり 個々の輝く 男女共同参画社会」

■俳句

つま と ゆうげ  
「夫の研ぐ 夕餉の膳や 梅雨明けり」

平成18年度男女共同参画週間  
石垣市主催事業「標語・俳句コンクール」入選作品

発行／石垣市総務部広報広聴課女性行政係

〒907-8501 石垣市美崎町14番地

TEL 0980-82-9911 (代)

TEL 0980-82-1243 (直)

No. 25

2007年 春季号

題字：竹内 梢

～2006

# 石垣市の女性行政～

## 男女共同参画講座2006



### 講演会

## “すこやかですか 心と体” ～自分らしく生きるために～

講師：竹下小夜子氏

さよウィメンズメンタルクリニック院長

と き：平成18年9月28日（木）

と ころ：石垣市健康福祉センター

精神科医として、また、カウンセラーとして長年の活動の中で培ってきたものをベースにわかりやすく実例を取り上げての講演は多くの人たちに感銘を与えました。

### ・パートナー関係とストレス耐性

【日本の研究】パートナーとの関係が良好な男性はストレス耐性が高い。

妻からの思いやりに満ちた言葉で自殺を思いとどまったと回答した男性が多かったとの報告も。

### ・DVや性被害をうちあげられた時、伝えたい4つのメッセージ

1.「正直にうちあげてくれて良かった」

(①「あなたを信じます」 + ②「うちあげてくれて良かった」)

または、「正直にうちあげてくれて有難う」

(①+②+こちらへの信頼に対する感謝)

2.「あなたは悪くない」 3.「あなたは一人ぼっちではない」 4.「力になりたい」

### ・子どもの選択能力をめぐって

臨床家アリス・ミラーの指摘

「誰か一人でもいい その人のほんとうの気持ちを理解してくれる人がいてくれたかどうか、それが決定的な違いを生む」

### ・笑いの効果/言葉と心と体等

【笑いの効果】

旧西ドイツの実験から：ほんものか作り笑いかにかかわらず、ストレスを緩和させる効果

【言葉と心と体の密接な結びつき】

心が重いときは体も重い。身体感覚の快さを追求するほうが容易。

若年齢層の参加者が目立つ講演会でした。感想の一部を取り上げます。

- ・「虐待の連鎖」は間違いであることが確認された。
- ・「DV」の構造、「今現在が大事である、現在を精一杯生きていこう」
- ・「一人ひとりの人間として生きることの大切さ」を思い知らされた
- ・地域で起きている事に共通の話題があり、少子高齢社会での女性への重圧があることを確認した。

## 第2次いしがきプラン地域推進委員会発足

### 推進委員委嘱状交付と第1回会議



全体会議



班編成してのワーキング

平成18年11月20日(月)：石垣市健康福祉センター

男女共同参画社会の実現をめざす「第2次いしがきプラン地域推進委員会」が発足しました。今回初めて市民公募の委員も参加し合計25名の委員に市長から委嘱状の交付が行われました。また新プランの概要説明が行われ、当面の事業として、「市民フォーラム」を開催することを決定しました。

推進委員会の作業部会を2グループに編成し、フォーラムについての作業に取り組みをはじめました。

## 第2次いしがきプラン地域推進委員会委員

委員長 潮平 俊 副委員長 坂座真 武

委員 宮良和子・友利マツエ・生盛智子・平良秀之・吉浜剛・宮良生子・玉城みどり  
平地ますみ・黒石高子・長浜末子・米盛重哉・下野富雄・仲良八重・多良間明美  
今井由美子・新城由利子・小底弘子・加勢本多代子・黒島健・松島昭司・當間律子  
島袋綾野・小笹俊太郎

## 市民フォーラム



講師  
広岡守穂氏



### ■ 基調講演

## 「妻が僕を変えた日」

講師：広岡守穂氏（佐賀県アバンセ女性センター館長・中央大学教授）

とき：平成18年12月18日（月）午後6時～

ところ：石垣市健康福祉センター

「第2次いしがきプラン」のスタート年にあたり、市民へのプランの周知と啓発を目的に市民フォーラムを開催しました。

八重山高校カラーガード部による元気な演舞により幕開けした市民フォーラム。第一部は、基調講演、第二部にシンポジウムを開催しました。

広岡守穂先生の基調講演では、多くの感想がありましたので、ご紹介します。

### 【感想】

- ・自分育てを支援する男（夫）女（妻）がお互いのパートナーの自分育てを支援できることこそが男女共同参画社会をつくる鍵である。
- ・長い間の胸のつかえがとれた様な気持ちになった。
- ・自分育てを再認識できた。
- ・自分育てをしていた妻が行動を始めたことに共感。多くの女性も多分、自分探しを求めていると思う。行動したいと思っているはず。現実にはバックアップしてくれる人がなかなかいない。でも行動することが必要。
- ・男女共同参画という言葉は硬いイメージがありますが、あたりまえのこととして、互いに思いやりをもって共存していきたい。
- ・人と人が互いに睦みあい、愛情を持って接することなのだ実感できうれしかった。
- ・「男女」間だけでなく、障がいをもつ人、もたない人にもあてはまるというのは新鮮だった。福祉の話にも関わるなど、男女共同参画というのは自分が考えていた以上に奥が深い、懐の広いものだと思った。男女共同参画の底にあるものは民主主義（デモクラシー）精神だと改めて思い知らされた。
- ・今日のような講演会、シンポジウムの開催がなくなる日が来た時が、真の男女共同参画社会の実現になるかと思った。
- ・男女共同参画は、子どもの頃に教育されないとむづかしいというのは、わかるような気がする等がありました。

# シンポジウム

## ■ テーマ 「参画で 職場に活気 家庭にゆとり」



- シンポジスト：金城 真紀氏(会社員)  
砂川 拓也氏(青年農業士)  
當間 律子氏(地方公務員)  
花谷 達郎氏(家族経営協定農家)
- コーディネーター：潮平 俊氏  
(第2次いしがきプラン地域推進委員会委員長)
- コメンテーター：広岡 守穂氏

4名のシンポジストたちのそれぞれの立場から現状における男女共同参画についての意見や問題提起等がありました。思いやりがあればパートナーはお互い支えあうことができる、小さい時から男女共同参画を教えるとのおのずと変わってくる等参画への展望が述べられていました。

### 【感想】

- ・家庭や職場に存在する男性上位社会の根っこはまだまだえぐり出せないのではないかと。真の男女共同参画がなりたつには、女性の意識も高めていかなければならない。
- ・人が生き生きと生活するには、どのシンポジストも家族愛に恵まれた男女共同参画がなされているように感じた。反面、家庭で実践していることに対し、周囲の人々の意識の変化と行動ができるような島にしていきたい。

## 男女共同参画講座2006

### 出前講座

#### ■ テーマ

### 「デンマークの家庭について」

講師：シアベック・柴田幸子氏  
対象：石垣婦人連合会役員及び単婦役員  
とき：平成19年1月21日(日) 午後3時30分～  
ところ：石垣市役所2階会議室  
共催：石垣市婦人連合会・石垣市

#### 講座レジメから……

- ・デンマークの家庭では、専業主婦はほとんどいない。
- ・子ども用のデイケアがある。
- ・寝るときは必ず本を読む習慣がある。
- ・週末は必ず親子一緒にの時間を持っている。
- ・日記を書いている子どもが多い。
- ・教科書…… 読ませて意見を言わす。書くのが好き。
- ・学校の時代からやれるものからやらせる。
- ・自分のペースでやっている子どもたちが多い。
- ・引きこもりの子どもは少ない。
- ・所得税は39～60%+消費税
- ・親は子どもの言動に対して必ず対応する。……自立……自分でやるべきだと自覚させる。
- ・「Do not」：「だめよ」は使わない。
- ・やってもいいけれど、子どもに責任はもたす。

主に子育てにしばった講座で孫(バレー教室)の写真を紹介しながら、時より受講生との質疑応答を交えての和気あいあいとした講座でした。



講師  
シアベック・柴田幸子氏



# 女性団体支援

石垣市女性団体ネットワーク会議結成10周年記念

## 第10回 まるごーフェスティバル



### ■ 記念講演

### 「デンマークの女性たち」

講師：シアベック・柴田幸子氏

とき：平成19年1月20日（土）午前10時30分～

ところ：ホテル日航八重山 八重山の間

石垣市女性団体ネットワーク会議（会長 潮平 俊）の結成10周年記念講演・記念式典・記念祝賀会が開催されました。

記念講演は、市との共催により石垣市登野城出身でデンマーク在住の「シアベック・柴田幸子氏」をお迎えしての講演会を行いました。



### … 祝賀会 スナップ …

### 喜びの 顔 かお 顔



「アンパルのミダガマ」の曲にのせてオープニング



初代女性行政担当課長  
小浜致辰氏



映像で見る10年のあゆみ



初代会長  
宮里テツ氏



思い出にひたる  
楽しい交流祝賀会



会員の絹枝氏



農山漁村女性組織連絡協議会  
による寸劇

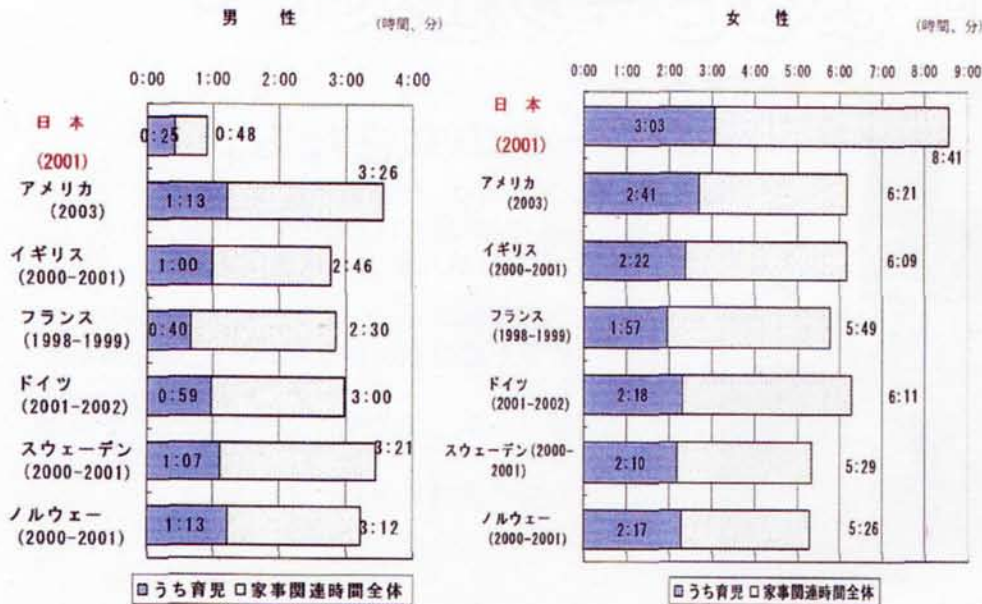
平成8年8月に石垣市女性団体ネットワーク会議が結成され、「かがやき 響き合う やいまの女・男」をテーマに毎年開催してきたまるごーフェスティバル。潮平会長は、当テーマは、「男も女も真に人権を尊重し合い、命を響き合わせ、男女共同参画社会の実現を図り、平和で豊かな社会づくりへの願いを象徴して掲げたものである」と述べておられます。当会議1周年をスタートに、第1回フェスティバルを開催し、第1部にワークショップ、第2部に「1枚の布から」のテーマで市民が企画するのは八重山で初めてと言われていた「ファッションショー」を手がけ「衣」に対する女性の生き様と華やかさの中でのイベントは多くの市民にインパクトを与えました。あれから、当フェスティバルにおいては、各々の団体が親睦をはかり、毎年のように時宜を得た、講演会やシンポジウムが開催され、年々参加団体も増え、10年の歩みとなりました。この過程において、講演会や学習を通して多くの人材が育成されております。

当日は、10周年節目の日として、記念行事を企画し、親睦と交流の中で会員はもとより、市民との有意義なひとときを共有いたしました。

# ワーク・ライフ・バランスとは？（仕事と生活の調和）

日本人男性の家事・育児時間は非常に短い

6歳未満児のいる男女の1日あたりの育児、家事関連時間（週全体）



働く人が仕事上の責任を果たそうとすると、仕事以外の生活でやりたいことや、やらなければならないことに取り組めなくなるのではなく、両者を実現できる状態のことです。

仕事と生活の軸足の置き方は、働き手によって、またライフステージによっても違います。働く人が各人にとって望ましいワーク・ライフ・バランスを実現できるよう、「仕事専念型」だけでない、多様な働き方を選ぶようにすることが求められます。

資料出所：Eurostat "How Europeans Spend Their Time - Everyday Life of Women and Men" (2004)、Bureau of Labor Statistics of the U.S. "American Time-Use Survey Summary" (2004)、総務省「社会生活基本調査」(平成13年)

## ミズ ニュース

おめでとうございます

平成18年度沖縄県美化コンクール  
沖縄県知事賞受賞

新川婦人会

沿道の花園づくりに新川婦人会  
取り組む会員たち



八重山婦人連合会役員に囲まれ喜びの受賞報告する仲本さん（前列右）と三盛さん（前列左）

第39回沖縄県婦人の主張中央大会  
沖縄県知事賞受賞

仲本 則子さん（川平婦人会）

「今、島に守り継ぐものがある!!」と題して、母親の後姿を見ているうちに、いつしか後継者として歩み始め、母親がやってきたものを途絶えることのないように、しっかりと食文化・伝統の「米みそ」作りを継承する喜びと八重山独自の島のすばらしさを未来へつなげたいと述べていました。

# がんばっている人たち

## 第34回全日本美容技術選手権大会〔中振袖着付けの部〕 翁長吉子さん入賞（平成18年10月20日）

国内美容業界代々のイベント「第34回全日本美容技術選手権大会」（全日本美容業生活衛生同業組合連合会主催・厚生省後援）が岩手県産業文化センター・アピオで開かれました。沖縄県代表として石垣市から翁長吉子さんが中振袖の部に出場。大会には7部門に全国から選ばれた247人が挑み、中振袖着付の部で入賞した翁長さん。美容業界の栄光であるこの大会へは3度目の挑戦、今回は自問自答しながらの参加となったようです。

「50歳も過ぎたし、いまさら名誉や実績はほしくないといえば、うそになるけれど、やはりそれだけでないと思った。『何のためにやるの？』『これから工夫と創造をモットーにやりぬく、やり続けるという覚悟をするために出るんだ』と決心しました。原点に戻る・・・覚悟を決めてかかると、それらが明確にみえてくること。これからの自分の指針になることがなんとなくわかってきたこと。

県代表に選出され、全国選出のメンバーと10人クラスでの2日間にわたる猛練習の場は、大きな励みになったそうです。これまで経営者として後輩をしかることはあっても、この年でしかられることはなかった。大会に向けての練習では、並大抵のしかり方ではなく、罵倒を浴びせられながらの特訓、正直言って午前6時からの練習は、おこられ、しかられ、涙との戦いであったので、受賞の時はそれらが思い出され、喜びはひとしおであったと語っておりました。



## 第6回労働組合フォーラム

テーマ～男女が共に働き続けるために～  
「男女共同参画推進」

と き：平成18年10月11日

と ころ：大川公民館

主 催：労金八重山地区推進委員会

男女共同参画は大変奥が深いという観点から、今回「職場の共同参画」に的を絞り、労働者の立場で、取り組みのネックとなっているものについて事例や、「第2次いしがきプラン」の概要説明、各パネリストたちによる提言や報告等があり、フロアとの活発な意見交換の中フォーラムが開催されました。

## 内閣府の事業推進

講演

「平成18年度 配偶者からの  
暴力防止支援アドバイザー派遣事業」

講師：近藤 恵子氏

NPO法人 女のスペース・おん

代表理事(北海道在住)

全国女性シェルターネット(共同代表)

と き：平成18年10月24日

と ころ：石垣市健康福祉センター

主 催：内閣府 共 催：ハートサポート・やいま 石垣市



近藤 恵子氏

北海道の女性の駆け込みシェルター「女のスペース・おん」の実情や支援内容の紹介や、アメリカ東海岸で実施されているDV根絶への事例のビデオ学習や参加者との意見交換等がありました。また、サポートシェルターの現場から訴え続けたことが、平成16年度の(DV)防止法の改正へと大きく動いたことなどが紹介されました。

近藤氏が「ドメスティック・バイオレンス(DV)は、社会が構造的につくりだした犯罪であり、サポートシェルターの存在は大きい」と強調され、DV被害者が加害者から心身ともに脅かされない安心した生活ができる社会になるよう支援していかなければならないと改めてDV防止に対する認識を強くした講演会でした。

# 要請行動

## 農山漁村女性の役職登用に関して市長へ要請

八重山地区農山漁村女性組織連絡協議会  
御一行が、市長室にて要請。

(平成18年11月27日)

市における農林水産業における各種委員会・審議会の全委員に占める女性の割合は、12.2%になっており、女性がいきいきと活躍できる環境を整備することは、若者にも魅力ある農漁村地域となり、定住化が促進され、後継者育成にもつながるものと考えます。農漁村を男女共同参画社会へと変革していくためにも、女性を各種委員、審議委員として参画させていくことが重要であり、女性の登用が図られるよう尽力いただきたいとの要請が読み上げられました。



要請文を読みあげる黒石高子会長

## 「柳沢厚生労働大臣辞任を求める抗議」

人権を考える女性の会 (平成19年2月21日)



女性蔑視発言に対し抗議声明文を  
読み上げる会員たち

平成19年1月27日の松江市の講演会において、女性の出産を例えて「産む機械……」や「2人まで持ちたいという健全な状況…」と発言し、全国から厳しい批判を受けています。この一連の発言に対し、女性蔑視ばかりでなく、生まれ出る命を物同然に置き換えた人間尊厳をも否定する不見識きわまりない発言に対し、早速、石垣市女性団体ネットワーク会議(賛同会員21団体)と外4団体による「人権を考える女性の会」を立ち上げ、「女性蔑視・人権侵害」発言に抗議し、柳沢厚生大臣辞任を求める要請書を当大臣と総理大臣宛へ送付しました。その抗議声明文を八重山記者クラブ室において、読み上げました。

## 第20回 農山漁村女性の日(3月10日)

「男女(とも)に助け合い みんなで創ろう 新しい男女共同参画(ふるさと)」

3月10日は、「農山漁村女性の日」。1987年に設けられ、古くから女性の自主的な活動が行われてきた日で女性が学習、話し合いを通して女性の地位向上と社会参画を促進するために全国から1000人余参加のイベントが毎年開催されます。当日は、チャレンジ活動発表やシンポジウムが開催され、本市からは10名の参加がありました。

「まちの元気なところは、必ず女性の活躍が目立つ」と言われるように、女性の人材育成を図り、未来を築く女性の力で農山漁村の共同参画を進めようと「記念の集い宣言文」が採択され、お互い力を合わせてがんばることを誓いあった大会でした。



## 表紙解説

「まるぎー」とは、八重山方言で円座を意味します。老若男女関係なく、円座になって情報を交換したり、未来を語り合うことを象徴して命名されました。

表紙の題字は、子育てと仕事、また、青少年健全育成のため「男子少年バスケットボール監督」と三役をこなすバイタリティあふれる頼もしい竹内梢さんです。